様式３(2020.08改)

作成日　令和３年１０月５日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373900493
事業所名	グループホーム稲沢重本の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	「ゴミゼロ運動」「お宮掃除」はこのような状況を受け、本年度は管理者1名での参加に留まっています。それでも以前は利用者も含み数名で関わってきた実績もあり、また運営推進会議で顔なじみの歴代の区長もいて、「よく来てくれたね」と歓迎されています。お寺の前が散歩コースなこともあり、通りすがりに蜜柑を分けてもらえたり、近所から花　も届きます。また職員の知人からの介護相談も2件ありました。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営推進会議については稲沢市高齢福祉課の指導を以て、「管理者が2ヶ月分の活動内容をまとめて区長、地域包括支援センターに送付、情報・助言を得たうえで議事録にまとめる」という方法で代替しています。事業所では送付ではなく、直接届けることでその場で意見を収集しており、議事録に反映させたうえで改めて市と地域包括支援センター、家族代表へ提出報告しています。聞き取り時には「利用者さん、何やってる？」などと気にかけてもらえています。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	生活保護受給者が5名おり、これまでは年1度稲沢市生活福祉課の訪問がありましたが、コロナ禍で電話確認に代えています。愛知県が開催する集団指導も休止ですが、本年度の法改正においても法人本部で情報を精査しているので安心です。また地域包括支援センターと地域の居宅介護保険事業所が「困り果てた」という困難事例は、前向きに受入れにつなげており、医師の助言を得て「介護と医療」の連携を以て1週間ほどで快方に向かっています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	面会できにくい状況にあっても事業所からの手紙や写真で家族も堪えてくださり、日用品やこづかいの補充には速やかな対応を得ています。また「毎月の手紙で安心している」と告げてくださる家族もいます。緊急事態宣言期間中は散歩だけでなく、戸外から出ることを控えており、ストレスがたまらないよう毎月の室内行事に力を注いできました(8月夏祭り、9月敬老会が、引き続き10月焼きそば会、11月作品展と楽しみを提供していく予定です。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

【備考欄】

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎									